日本の滝一〇〇選

龍門滝

広報かじき

題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き

（平成7年9月1日現在）

総人口23,503人（ 16）	出生 14人
男 10,966人（ 12）	死亡 18人
女 12,537人（ 4）	転入 126人
世帯数 8,676 （ 4）	転出 107人

●（　）内は前月との比較●

広場は少し狭くなったが、見違えるようにきれいになった

加治木駅

加治木の玄関、「JR加治木駅」周辺がにわかに変容してきた。

こつぜんと湧いたように東から駅を包み込む駅前団地、その存在をひときわアピールして秋空に映える社会保険事務所、きれいに整備された駐輪場、カラー歩道、ロータリーなど……駅は近代建物群に華々しく彩られている。

……しかし、まだちょっと物足りなさを感じる。特急「きりしま」も止まるようになったのだが、なぜかしょんぼり見える。

――そう、私はもっともっと多くの方とふれあい、町中の人の活気ある笑顔を見てみたいのです。

平成7年

9月号

今月のページ

☆鹿児島湾ブルー計画……2～4ページ　☆国際夏の祭典イン加治木……5ページ　☆敬老の日……6～7ページ　☆かじきの戦後史……8～10ページ　☆まちの話題…11～12ページ　☆かじっガラス……13ページ　☆アンのアイ……14ページ　☆椋鳩十……15ページ　☆おしらせ……16ページ

●No. 491　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62－2111●

特集

第3期鹿児島湾ブルー計画スタート！

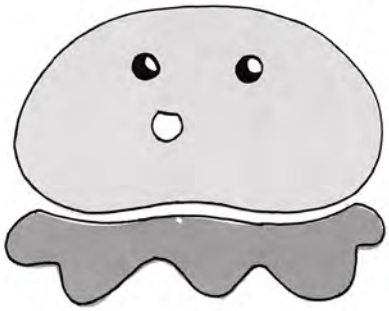
美しい錦江湾を明日の世代へ!!

雄大な桜島を内ふところに遊ばせ、海原を金色に染めて静かに眠る母なる海――鹿児島湾。別名「錦江湾」の愛称で親しまれ、海水浴や潮干狩り、釣り、マリンスポーツなど県民の憩いの場として、また産業活動の場として広く利用されるなど、県民共有の貴重な財産となっています。

このような鹿児島湾を青々とした海としていつまでも美しく保っていくことは、県民全ての願いであるとともに、我々に課せられた責務でもあります。県では「豊かな経済社会を築いていくなかで、いかにして鹿児島湾を美しく保っていくか」という課題への取組として、昭和五十四年「鹿児島湾ブルー計画」を策定し、県民のみなさんの理解と協力のもとに、美しい鹿児島湾を守る努力を進めてきました。

平成七年三月に策定した「第三期鹿児島湾ブルー計画」は、これまで進めてきた計画をさらに効果的に推進するための基本となる計画（平成七年～平成十六年）です。

今月は、この「第三期鹿児島湾ブルー計画」について紹介します。



○鹿児島湾の水質状況

桜島を境に、すり鉢を二つつないだような形をしている鹿児島湾では、湾内の水は外洋の海水との交換が悪く、特に桜島から北の湾奥は海水の交換が少ないといわれています。

さらに、湾域での産業活動は活発で、人口の集中や生活水準の向上などで汚濁物質の流入が増加していることから、依然として汚濁の進行が懸念されています。

右下のグラフは、平成四年度と平成十五年度（推計）の排出汚濁負荷量の比較を示しています。

ここでは、住民等の生活に伴うもの（生活系）、工場・事業場の活動に伴うもの（事業系）、畜産業に伴うもの（畜産系）、水産養殖業に伴うもの（水産系）、農業や林業の施肥等に伴うもの（農林系）に区分して把握しています。

○環境保全対策

第三期ブルー計画では、次のような対策に重点的に取り組みます。

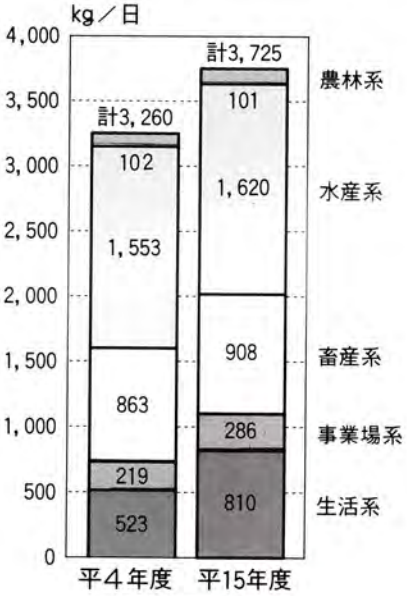
□適正な土地・水面利用対策と環境影響評価等の推進

各種の土地・水面利用等の開発行為については、土地利用対策要綱や環境影響評価要綱等により、事業実施に際して、環境保全上の措置を講じるよう指導します。

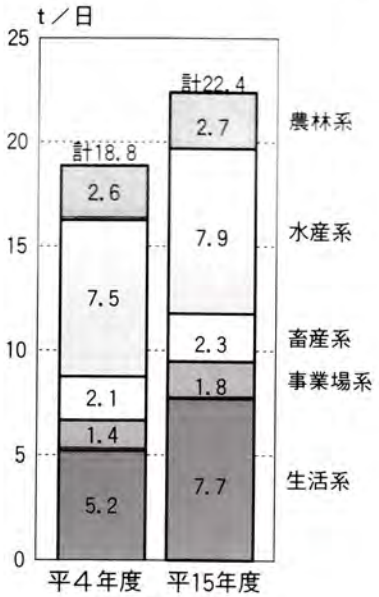
□工場・事業場対策

監視調査や、窒素・リンの排水規制を強化するとともに、小規模事業場等の指導に努めます。

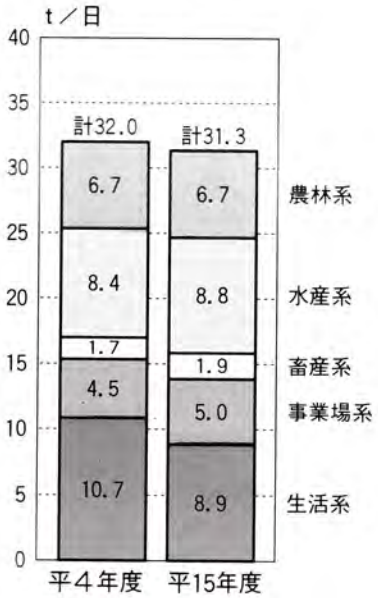
□生活排水対策



りん

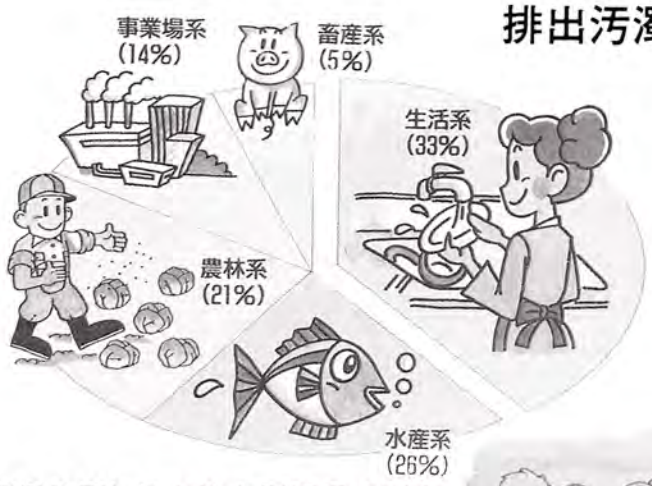


窒素



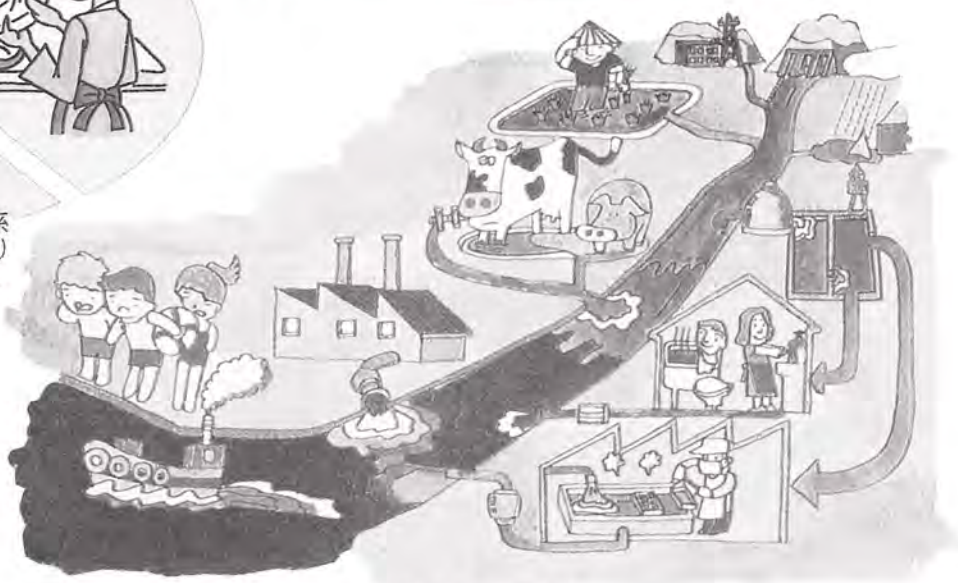
COD

排出汚濁負荷量



鹿児島湾に流れ込む汚濁量の割合
（平成４年度）　〔COD〕

海を汚す原因の3分の1は生活排水です！



水質汚濁の原因

生活排水対策重点地域（湾奥部流域2市10町）における生活排水処理施設の整備や啓発運動を推進します。

公共下水道や小型合併処理浄化槽・農業集落排水施設等の整備を推進します。

□農畜産業対策

家畜ふん尿については、堆肥化などの有効活用や、ふん尿処理施設の整備などを促進します。

また、化学肥料や農薬等の効率的利用など環境保全型農業の推進を図ります。

□水産養殖業対策

「魚類養殖指導指針」に基づく適正養殖管理について指導するとともに、餌料の改善などを促進します。

□水辺環境の保全管理

砂浜や磯辺などの自然海岸等はできるだけ現状の維持に努め、やむを得ない場合でも最小限の改変に努めるなど適切に保全管理します。

また、水辺に親しむために自然観察会の実施など環境学習の推進に努めます。

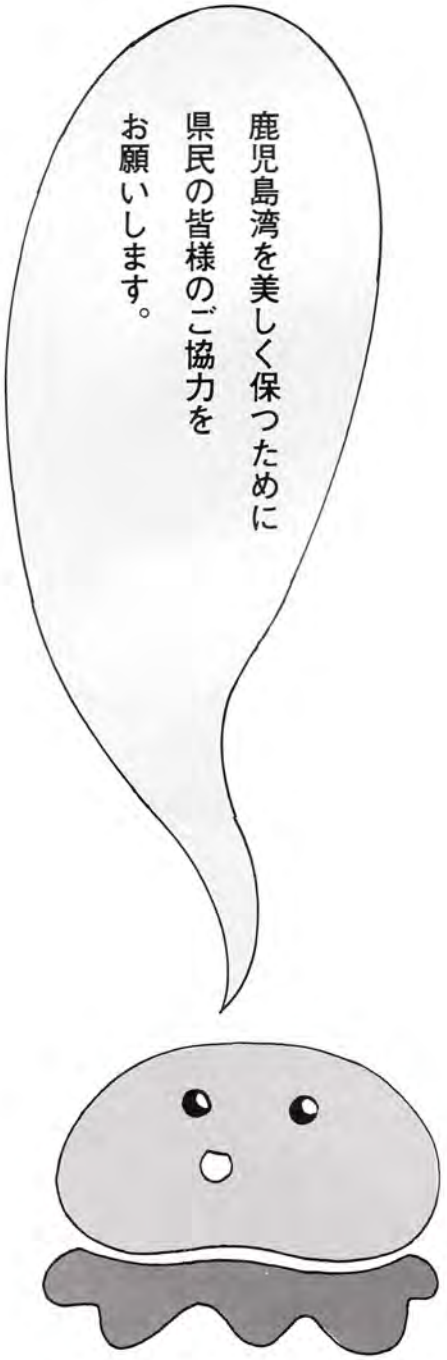
○県民運動の展開

この計画の効果的な推進のためには、県民一人ひとりが、次のような点について自主的実践に取り組むことが重要です。

一、台所や浴室からの家庭雑排水の適正処理

二、ゴミ、空きカン等の投げ捨て防止等マナーの向上

三、海岸美化活動や水に親しむ運動への参加



鹿児島湾流域

●水質の保全目標

項　目	目 標 水 質
COD	2mg/ℓ以下
窒　素	0.3mg/ℓ以下
り　ん	0.03mg/ℓ以下

COD＝化学的酸素要求量のことで、水の汚れの程度を示す代表的な指標。数値が高いほど汚れていることを示す。

窒　素＝りんと同じように、水質の富栄養化の主な指標で数値が高いほど汚れていることを示す。

り　ん＝プランクトン等が増えて、赤潮発生等につながる水質の富栄養化の主な指標で、数値が高いほど汚れていることを示す。

県内外国人三十三人が参加
キャンプ・ホームスティ

国際夏の祭典 イン加治木

みんな いつの間にか 仲良しに

〝国際交流の芽を育てよう〟と八月十八日から二十日までの三日間、県内の外国人（留学生・英語指導助手・国際交流員など）を加治木に招き、「国際夏の祭典イン加治木」が開催されました。

参加した外国人は、国際色豊かに欧米からアメリカ、カナダ、アイルランド、イギリス、オーストラリア、アジアから韓国、フィリピン、インドネシア、バングラデシュ、ネパールの九カ国三十三人（男性十六人、女性十七人）で、みんな日本語はまずまず。

第一日目の十八日は、さえずりの森で町内の高校生・大学生二十七人とキャンプ。みんなは広場でキャンプファイヤーを囲み、バーベキューに舌鼓を打ちながら、五つ太鼓とキャロッツのバンド演奏に耳を傾けたり、餅つきをしたりと、それぞれ日本の文化を堪能した後、加治木の交歓学生と思い思いに明るく談笑。上村みさきさん（高二）と榎薗真理子さん（高一）は、バングラデシュのジャリルさんと話が弾み、「日本語で話しましたが、英語は使わなくてもいい体験ができました」と二人とも少し緊張気味。しかし、英会話とは一味違ったスキンシップに、彼女たちの心に小さな国際交流の芽が育ったことでしょう。

翌十九日から二十日は、町内二十七家庭にホームスティ。一家族に一人の予定でしたが、ホームスティ側の都合で二人と三人の所もあり、龍門滝温泉で初対面したとき、さすがにその家族の表情は、にこやかな中にも困惑の色がありあり……。しかし、ひとたび家庭に迎え入れると、そこは気さくな加治木の人たち。翌二十日のお別れ会に集まり、それぞれ感想を問われたお母さん方は、一夜を共にし、くつろいだ我が家に打ち解けた外国人を前に、それぞれ自分の子供と別れるような忍びがたい表情を作っていました。

その後、一行はホームスティの家族らと太鼓踊りを見物。カネ打ちの姿に「オオー、サムライ！サムライ！」と喜び、家族と共にその中に交じってハイポーズ……。みんな、この夏のいい思い出ができたことでしょう。

ホームスティのみなさん、たいへんご苦労さまでした。ホームスティではそれぞれの家庭で失敗も成功もあったでしょうが、反面それが強いきずなを生むものです。外国人のあのときの嬉しそうな表情、困った仕草など々……きっと忘れられない心のアルバムになることでしょう。これを契機に、ほかの方にも勧めてください。

楽しそうですネ

「親と子の国際交流のつどい」に参加しませんか

町では、親と子を対象に「親と子の国際交流のつどい」を次のとおり開催します。

おおぜいの参加をお待ちしています。

期日　10月22日（日）13時30分
　　2時間半～3時間程度
〆切り　10月17日
場所　役場体育館

募集要項

(1) 対象者は、四歳以上から小学生までとその保護者。

(2) 参加したい方は、役場企画課へ電話してください。

(3) おやつ代として一人百円を負担してもらいます。

※この日は、アンさんや近隣のJET青年の方と交流します。

九十歳以上が百三十五人

百歳以上は女性三人

九月十五日は、おじいちゃんおばあちゃんの長寿を祝う「敬老の日」――。

と言って、この日だけ祝えばいいという訳でもありませんが、何事にも目安というものは必要で、日々多忙をきわめる現代社会において、ついつい忘れがちになっている「お年寄りを敬う」「大事にする」という私たちの孝養心を呼び覚ます日でもあります。

そうしたなか、「敬老の日」を祝って家族や地域でいろいろな行事が催されますが、一番大事なことは、その日にお年寄りを喜ばせることではなく、我々一人ひとりの心に「孝養」の芽をしっかりと植えつけることではないでしょうか。そして、その兆しをお年寄りの目がしっかりとらえたとき、その家族は何にも変えがたい至福の光に包まれるのです。

さて、加治木町の百歳以上の方は三人ですが、ともに女性。また九十歳以上は百三十五人を数えますが、うち女性が百人と圧倒的に多く、老いてますますおばあちゃんパワーのすごさを見せつけられた感があります。おじいちゃんたちも頑張って（？）ください。

敬老の日を祝う

町敬老金等贈呈式
並びに合同金婚式

八十歳以上は一、〇〇四人
アンさん大活躍！

慶祝・九〇歳以上の長寿番付

平成7年（9月1日現在）
総数百三十五人

男

横綱　1　日髙辨一（九八）　望岳園
大関　2　大宮路重助（九七）　辺川下
関脇　3　生駒重良（九六）　向江町
小結　4　外村政男（九五）　菖蒲谷
前頭　5　山下平二（九四）　井手向
6　六反秀雄（九四）　楠園
7　東木直一（九四）　川内
8　松坂捨一（九三）　反土黒川
9　三宅直吉（九三）　望岳園
10　四元榮一（九三）　豊町
11　川原軍次（九三）　茶碗屋
12　岩下親雄（九三）　須崎
13　漆間宗夫（九二）　今町
14　冨永時義（九二）　長谷
15　壱岐榮藏（九二）　岩原西
16　山之内愛之助（九一）　望岳園
17　扇薗敬次（九一）　上木田
18　安藤安光（九一）　岩原西
19　前田榮吉（九一）　伊部野
20　湯田實（九〇）　竹下
21　山口軍治（九〇）　赤谷
22　河野正男（九〇）　毘沙門
23　杉田平（九〇）　須崎
24　山元吉之助（九〇）　里ノ上
25　川野平二（九〇）　高崎
26　宮田實（九〇）　楠園
27　福森松男（九〇）　隈原上
28　宅間初雄（九〇）　東塩入
29　林辰雄（九〇）　天神
30　濱崎一雄（九〇）　東塩入
31　坂元菊志（九〇）　東塩入
32　瀬戸口精一（九〇）　望岳園
33　仁藤巳智勇（九〇）　楠園
34　有馬松雄（九〇）　江湖
35　内野博（九〇）　岩原東

女

横綱　1　谷口（やぐち）アリ（一〇一）　望岳園
大関　2　谷口（たにぐち）ケサチヨ（一〇〇）　里ノ上
関脇　3　坂元ケサノ（一〇〇）　宮田ケ平
小結　4　四元アキ（九八）　向江町
前頭　5　大脇ヒデ（九七）　望岳園
6　猪目キワ（九六）　温泉病院
7　庄村ヨシ（九六）　西ノ原
8　丸野ハル（九六）　端山
9　池ヤヱ（九六）　望岳園
10　佐藤トモ（九六）　垂ノ口
50　宮脇ミカ（九二）　下新道
51　福永ヒテ（九二）　中浜
52　森木ケサノ（九二）　丸岡
53　青山ヤヱ（九二）　東塩入
54　大迫ハナ子（九二）　向江町
55　坂口ツルノ（九二）　望岳園
56　黒川ミセ（九二）　小陣
57　安田ケサミツ（九二）　岩原西
58　神村さなみ（九二）　萩原
59　坂口ユキヱ（九二）　里ノ下
60　岩男綾子（九二）　望岳園
61　米森アイ（九二）　迫下
62　野毛ハマノ（九二）　岩原東

おおぜいの人が集まって…

平成七年度町敬老金等贈呈式並びに合同金婚式が九月十三日、福祉センターに八十歳以上の方々をお招きして開催されました。

今年の八十歳以上の敬老金支給対象者は一、〇〇四人で、代表して榎薗高雄さんに宇都宮町長から記念品と敬老金が贈られました。また、ねたきり老人介護者は四十三人、夫婦になってめでたく五十年を迎えられた金婚式者は二十三組でした。

金婚式では、国際交流員のアンさんが巫女役で登場し、会場の多くの目をくぎ付けに。昨年は初めてだったので手がふるえていたようですが、今年はうって変わって落ち着いた様子。無難に終えて、最後に「貴重な体験をさせてもらい、大変よろこんでいます。みなさん、いつまでも長生きしてください。オヤットサアー」といつもの笑顔であいさつすると、会場のお年寄りらは自分の孫を見守るように目を和ませ、思わず笑みをこぼしていました。

〔金婚式対象者・敬称略〕

日木山団地　白坂英夫・スミエ
岩原東　千歳三男・正子
今町　柚木徳男・邑
於里　東國雄・ミツ子
東塩入　大川吉春・綾子
柳田　井手元達也・ツルエ
隈原上　西森正守・アキエ
毛上　岩元隆義・久子
中福良後　加世田貞雄・ツルエ
新富団地　土師勝美・ナミエ
下浜　椎屋晃・恵美子
江湖　大迫豊蔵・カミ
東諏訪　部當光夫・スガ
須崎　郡山政人・ミカ
垂ノ口　美坂豊美・ヒサエ
南塩入　立元初雄・ミキエ
中浜　田中忠志・トミ子
小陣　湊清治・トミ
迫下　宮園治春・スミエ
隈原上　榎谷春徳・ノブ子
中塩入　下水流義男・ユリ子
天神　矢野政美・サダ子
永原　森木弘・ユキエ

アンさんもちょっと
緊張気味

11 有馬ナヨ（九五）弥勒
12 中江テル（九五）東諏訪
13 山下イワ（九五）下新道
14 定榮ムラ（九五）小陣
15 野田ツルノ（九五）望岳園
16 窪徳ツ子（九五）望岳園
17 岩元ツヤ（九五）吉原
18 小宮路アサ（九五）望岳園
19 岩崎シゲ（九四）蔵王団地
20 森キク（九四）東吉原
21 坂元イ子（九四）東ヒナバ
22 隈原ナヨ（九四）望岳園
23 垂水アサ（九四）西塩入中
24 山元フミ（九四）向江町
25 川内ミ子（九三）田中
26 今村美喜（九三）須崎
27 立山マル（九三）垂ノ口
28 末元フギ（九三）望岳園
29 川野ハル（九三）岩穴口
30 郡山フミ（九三）須崎
31 上栗ハル（九三）高井田
32 横山かつ（九三）望岳園
33 原田文雄（九三）東塩入
34 加藤チカ（九三）望岳園
35 川上トラ子（九三）西諏訪
36 城フギ（九三）端山
37 佐藤シヅエ（九二）望岳園
38 向江朝子（九二）内原田
39 栫タケ（九二）望岳園
40 壹岐アキ（九二）柳田
41 竹之内フイ（九二）高井田
42 塩屋ユキ（九二）望岳園
43 田口ヨシエ（九二）吉原
44 児玉カスミ（九二）竜門の里
45 上野ミヤ（九二）今町
46 城川久子（九二）今町
47 奥ハツ（九二）西反土後
48 黒木ツタエ（九二）東諏訪
49 平地セイ（九二）内原田

63 市川クニ（九一）西諏訪
64 森永シヅ（九一）吉原
65 向江フギ子（九一）鶴原
66 右田コト（九一）岩原東
67 池端ヒデ（九一）田中
68 成尾ミト（九一）望岳園
69 大屋ユ子（九一）中央
70 美坂ハマ（九一）今町
71 後藤菊枝（九一）望岳園
72 岡元フミ（九一）吉原
73 岡山クニ（九一）西塩入上
74 竪山フデ（九一）望岳園
75 脇ツル（九〇）楠原
76 津崎ムラ（九〇）田中
77 末吉キワ（九〇）中福良後
78 前田タマノ（九〇）望岳園
79 小川クニ（九〇）端山
80 地久里ヱダ（九〇）赤谷
81 桃木野イク（九〇）望岳園
82 上野セイ（九〇）上木田
83 山崎ミツエ（九〇）中塩入
84 名越ノブ（九〇）望岳園
85 野元キミ（九〇）中浜
86 村田タカ（九〇）望岳園
87 藤山ミカ（九〇）望岳園
88 城内ケサクイ（九〇）札立
89 山元キワ（九〇）明神
90 脇シカ（九〇）井手向
91 緒方チカ（九〇）吉原
92 西平田チヨキク（九〇）楠園
93 室屋キサ（九〇）望岳園
94 田中ヒテ（九〇）蒲生田(二)
95 鮫島モト（九〇）望岳園
96 厚か子（九〇）高井田
97 杉田フミ（九〇）豊町
98 隈原サト（九〇）隈原上
99 後藤ムメ（九〇）柳田
100 柳田スマ（九〇）望岳園

かじきの戦後史(3)

終戦間際の昭和二十年八月十一日、加治木が二度目の空襲を受けたことは前号で触れたが、なかでも旧制加治木中学校（現在の加治木高校）の生徒十四人の爆死は悲惨をきわめた。くしくも今年は、戦後五十年の節目の年に当たり、亡き友の御霊を慰めようと八月十一日、加治木高校でははじめての慰霊祭が営まれた。

ここに、当時の戦争体験をもとに綴ったもので、加治木高校を二十六年に卒業された方々の同窓会誌（二六会誌）があるので紹介しよう。

校内にある殉難学徒の碑

遠い日の記憶

アメリカ側から見た加治木最後の日

― 二六会誌・今吉孝夫氏 ― より

昭和二十年八月十一日の朝、ぎらぎらした夏の暑い太陽の下を県立加治木中学校の低学年の生徒たちは、今日から始まる学期末試験のため、北から西から東から続々と登校していた。

――ちょうどその時刻頃、沖縄では――

フイリッピンから進出したばかりのアメリカ第五航空軍の各飛行部隊は、早朝から九州爆撃の準備に大わらわであった。昨日の十日には、日本政府がラジオ放送を通じて平和を求めている旨の意思表示が傍受され、今日十一日にはトルーマン大統領が対日戦略空軍に対して作戦停止の命令を出したが、この通告はここ最前線の沖縄には未だ達していなかった。

第五航空軍の今日の攻撃目標は加治木、山川及び指宿、油津と対馬の厳島の四カ所。投入機数はA－20とB－24爆撃機の百十一機である。この第五航空軍は来るべき南九州上陸のオリンピック作戦の一環として、第七航空軍と協同でB－29爆撃機が破壊できなかった九州の主要地方都市を徹底的に破壊する任務を帯びていた。

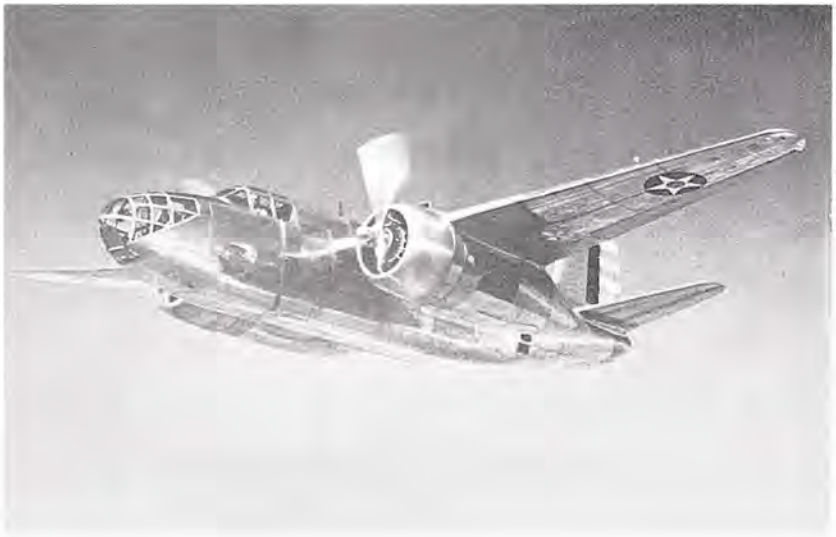
今日、加治木を攻撃する爆撃隊は第五爆撃団麾下の第三〇八爆撃部隊第三爆撃隊。この爆撃隊は第八、第一三、第八九及び第九〇の四飛行中隊によって編成されたダグラスA－20型双発爆撃機総数三五機である。

午前八時〇分、先導隊である第九〇中隊の九機がボロ仮設飛行場から発進、続いて第八中隊一〇機、第八九中隊九機、後翼として第一三中隊七機が続々と離陸し飛行場上空で全機集合、三機編隊の態勢を整え、加治木をめざし針路北北東三〇度にとり、二時間余りの飛行で目標の加治木に接近。視界良好、加治木の町全体が手に取るように見える。

一方、鹿児島地方――

爆撃隊が沖縄を発進してまもなく、警戒警報、続いて空襲警報が発せられた。

上り及び下りの汽車は途中で運行中止し、避難したので汽車通学中の多数の生徒が登校できなかった。『万難を排して登校せよ』との学校の命令にもかかわらずである。結局、今日の試験は中止され、徒歩や自転車で登校した生徒たちは校舎や校庭の清掃作業を指示され、それぞ



加治木空襲の爆撃機と同型のダグラスA－20双発爆撃機

れ持場で作業に従事していた。

その最中、突然――

先導隊第九〇中隊が三機横列編隊で町の北西より時速二〇〇マイル超低空高度で進入し、75ガロンナパーム弾、パラシュート付五〇〇ポンド焼夷弾、12・7ミリ機銃による攻撃を開始する。午前十時二十五分である。各編隊一回攻撃で町の南東の方向に飛び抜けた。事前に対空砲火陣地の所在が確認されていた場所にある中学校の建物、町役場の大きな建物、そして住宅にナパーム弾が直撃するのが確認された。四ヶ所で大火災が発生した。二ヶ所は網掛川の曲がりに沿った町並みであった。機銃掃射を徹底的にしたので町全体のあちらこちらから火の手が上がった。町の東南端で、網掛川の流れの曲がった所から下流に約一〇〇〇フィートの堤防西側にあった対空砲火陣地より軽火砲による中規模で正確な砲火を浴び二機が飛弾した。

沿岸の造船所には建設中のSUGAR DOGS（砂糖貯蔵塔）四基があり、大型運搬船が入江に繋留されているのが観測された。東経一三〇度三六分、北緯三一度四二分の海岸あたりにある陣地から軽火砲による散発的な攻撃を受けたが、不正確であったため飛弾しなかった。第九〇中隊の爆撃は一〇時三五分に終了。投下したナパーム弾一二個、焼夷弾三六個、その九五パーセントが目標域内に落下した。

網掛川附近に落下中のパラシュート付爆弾

第二次爆撃隊はヘイラー大尉率いる第八中隊一〇機である。三機編成で75ガロンナパーム弾二〇個、五〇〇ポンド焼夷弾四〇個が投下され、その九〇パーセントが標的に命中したが、二個は目標をそれて海岸際に落下した。爆弾二個を着装し、加治木から錦江湾に突き出ている波止場に投下した。多数のナパーム弾、焼夷弾が街の建物を直撃し、あちらこちらで大きな炎が上がり街全体が煙に包まれた。街の中心の数ヵ所は盛んに炎上し、南端の水際近くで一ヵ所、かなり大きな火の手が上がっていた。掃射で消費した12・7ミリ機銃弾は九、五五〇発あった。

第三次爆撃隊は第八九中隊の九機三機編隊。75ガロンナパーム弾一六個、五〇〇ポンド焼夷弾三四個を町の東側半分の区域に投下。そのうち一個は倉庫とおぼしき建物群（女学校）に直撃したのを確認した。12・7ミリ機銃弾七、四〇〇発を掃射した。町全体が火の海と化し、煙はすでに二〇〇〇フィートの上空まで昇っていた。

最後の爆撃隊は第一三中隊七機三機編成で進入、75ガロンナパーム弾六個、五〇〇ポンド焼夷弾二八個を投下。そのうち八〇パーセントは爆撃指定域内に落下したが、残りは目標に隣接したすぐ東側の住宅地区に落下した。第一三中隊は後翼を努めたために爆撃開始したときは、すでに三〇〇〇フィートの上空まで達していた噴煙で町全体太陽の光がさえぎられていたために、投下弾の爆発による破壊の度合いを確認することができなかった。入江に繋留してあった多数の小型運搬船にも機銃掃射を浴びせたが、戦果は確認できなかった。消費した12・7ミリ機銃弾は四、五〇〇発。町の海岸付近から軽火砲による散発的な攻撃を受けたが、不正確なために飛弾はなかった。加治木の町全体はナパーム弾、焼夷弾と徹底的な機銃掃射で完全に破壊しつくされ、戦果は上々であった。

爆撃完了後、全機が編隊を組み帰途に着くころ、加治木の町は上空四〇〇〇フィートに達する煙で覆われていた。経路南南西二一〇度にとり、午後一時五分沖縄ボロ飛行場に全機無事帰投した。

この夜、加治木では戦火にたおれて学友を捜し求め、肉親があるいは銃火に傷ついた学友が死と闘っているころ、沖縄のアメリカ空軍基地では――

日本降伏の第一報が報道され、今日爆撃に参加した第八九飛行中隊の全員も戦勝のお祭り騒ぎに参加していた。記録には『テントというテントから全員が飛び出し来たりて、部隊広場で叫び小躍りしながら、およそ三〇分の時間、夜空を覆う赤い線の絵模様を全員が眺めていた。その光景はあたかもこの島にいる全ての人が同じ事を想っているように思われた』とある。

以上が爆撃に参加した各飛行中隊の爆撃記録と、第三爆撃隊の報告書等の資料を、当日現場（中学校）にいた筆者（今吉孝夫氏）が整理編集したものである。第五航空軍の戦果記録には『投下爆弾四六トン、大型倉庫群四ヶ所破壊』となっているがおそらくこれは柁城小学校、中学校、女学校、工業学校を指しているのであろう。第一三飛行中隊の爆撃完了時刻は記録にないが、沖縄よりの発進、帰投時刻、加治木までの飛行距離と速度などを考慮にいれてみると、加治木を破壊するのに要した時間はおそらく二〇～二五分位であったろうか。

各飛行中隊の記録の行間には、この爆撃は加治木の特定地域を目標としていたニュアンスを嗅ぎ取ることができるが、それが何であったかは不明である。い

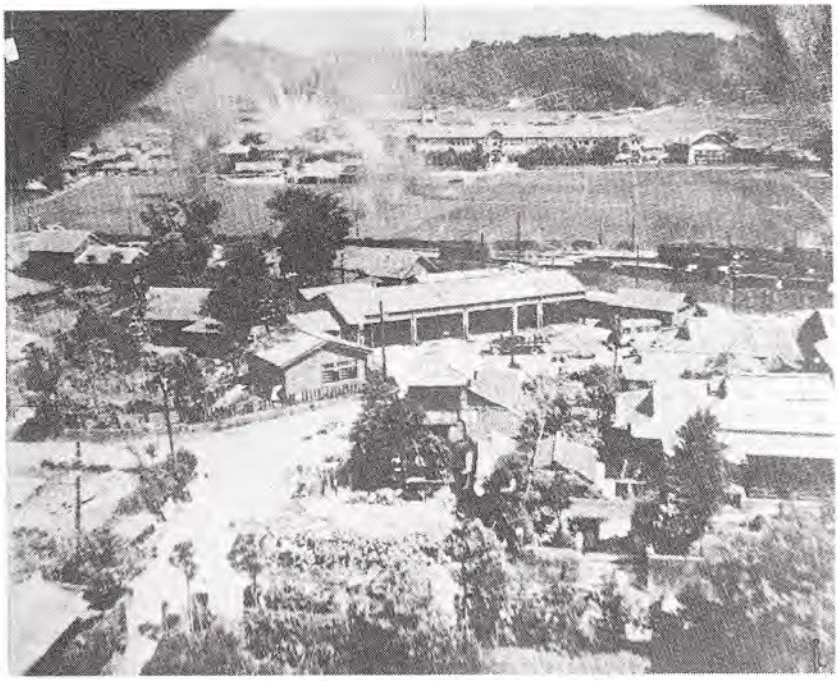
ずれにせよ、あっという間の出来事としては余りにも大きな犠牲と損害を被った日であった。そして命拾いをした筆者にとっても、二度と味わいたくないこの世の地獄を見た日でもあった。

終戦直後、この日の爆撃は日系人の手引で行われたかの流言飛語を筆者は記憶しているが、参加爆撃中隊の搭乗員および地上勤務員いずれも東洋系の名前は記録に残っていないことを、日系人の名誉のために付記しておきます。

この記録をいかに読み、あるいは理解するかは読者にお任せしたいが、あの日から四〇年を経た今頃（二六会誌・昭和六十二年九月発行）、『何のためにそんな記録を』という素朴な疑問が筆者自身の心の中でも頭をもたげた時もあった。ただし、昭和三十年代前半のアメリカ留学時代、四十年代の駐在員時代を通じて得た数多くのアメリカの友人知人と、アメリカという国を知れば知るほど、一学園都市にしか過ぎなかった町をしかも、終戦直前になぜ爆撃破壊したのか納得できない気持ちが絶えず心の片隅にわだかまっていた。幸い再度アメリカ駐在という機会に恵まれ、またこられの機密書類も一般公開される時期にもなっているので、あえてその真相を探ってみたいと考えた次第である。

最後にこの資料は、米国下院議員W・デッキンソン氏、ワシントンD・C・ボーリング空軍基地のジャーニガン軍曹、アラバマ州マックスウェル空軍基地歴史研究センターのJ・キッチン博士及び筆者の秘書C・タフト女史の積極的な協力がなければ、この膨大な戦争資料の中から「AUGUST11 1945」という日付と「KANJIKI」――爆撃記録にはKANJIKIとなっている――という場所の二つを頼りにこれらの記録は掘り出され、そして陽の目を見ることはなかったと思います。

『例え命令であれ学校しかない町を爆撃するなんて――戦争中といえども良心に従って拒否すべきだった……』という善良なアメリカ市民の言葉をもって、この日戦果に斃れた十有余指の学友、その他犠牲になられた加治木町の方々に鎮魂の報告をします。



加治木駅付近、後方が加治木工業学校

加治木町文化会館「加音（かのん）ホール」キャンペーンコンサート

ふるさとファミリー音楽会

福祉センター
10月25日

今年のふるさとファミリー音楽会はクラシック演奏で、子供から大人までの幅広い年齢層が一緒になって楽しめる音楽会です。

曲目　子供になじみのあるもので「となりのトトロ」「ディズニーメドレー」をはじめ、「童謡集」「九州民謡によるファンタジー」またクラシック名曲のヴィヴァルディ四季より「春」、モーツアルト「夜のセレナード第一楽章」など。

出演　東京カンマーアンサンブル

場所　福祉センター

期日　10月25日　開場18：00　開演18：30

入場料
大　人　二、〇〇〇円
高校生　一、五〇〇円
中学生以下　一、〇〇〇円

入場券発売所
ふれあい物産館・役場総務課・社会教育課

お問い合わせ
社会教育課・文化会館準備係

※車でお越しの方は、役場駐車場をご利用ください。

「オオー、サムライ！」外国人がびっくり

太鼓踊り

町無形民俗文化財指定の太鼓踊りは八月二十日、仮屋馬場をメーンに勇壮に繰り広げられました。

歴史をひもとくと、太鼓踊りは島津義弘が朝鮮役の凱旋祝いとして、また併せて疫病払いの踊りとして創作したといわれ、その関係で踊る場所は、昔から義弘の住んだ島津加治木館跡前の仮屋馬場が主舞台となっていたようです。

早朝、春日神社に勢ぞろいした四地区の太鼓踊り一行を前に、宇都宮町長が激励のあいさつを述べると、それが終わると同時に、小山田地区が庭踊りの前触れであるカネの音の早い「案内」を打ち出し、長い一日の始まりです。（踊る順番は小山田、木田、反土、西別府の順で、毎年繰り上がっていきます。）

午前十時、仮屋馬場の打ち上げでは、道いっぱいに広がった踊り手が一定の間隔をおいて、勇壮に踊りながら次々と坂を上がってくると、沿道の観客から万雷の拍手がとどろいていました。

また、この日は観客の中に、ホームスティしている外国人の姿も多く見られ、初めて目にする太鼓踊りの武者姿に「オオー、ワンダフル、サムライ！」と喜び、素晴らしい日本伝統の踊りに大きな青い目をパチクリ。午後からは、激しい落雷と雨に襲われ、一時は中止かとも心配されましたが、水入り後は、それまでの酷暑よりいくぶん涼しげな蒲生田通りを元気良く南下していきました。

御礼

町内の皆様、太鼓踊りの際は過分の御寄付をいただき誠にありがとうございました。広報紙の紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。

反土地区保存会長　恒森一美
木田　〃　岩下　栄
小山田　〃　猪目喜年
西別府　〃　東　清治

勇壮に踊りながら坂を上ってくる

神戸の子供らを招待

チャリティコンサートで資金を集める

阪神淡路大震災支援鹿児島会議

〝震災にあった子供たちを励ましそう〟と、阪神淡路大震災支援鹿児島会議では八月二十二日から二十五日までの三泊四日の日程で、神戸地区の子供たちを鹿児島に招待しました。

募集は神戸鹿児島県人会が引き受け、招待したのは神戸市や芦屋市の小学五、六年の三十一人。費用は同会議がチャリティコンサートで捻出したもので、八月十一日性応寺の本堂で開催されたコンサートには地元のバンド・キャロッツのほか、岩切みよしさんと弦楽五重奏団サラエ・アコースティックが出演し、それぞれの持ち味を披露。なかでも、岩切さんの神戸の応援歌「あの空をとりもどすために」は好評を博していました。

さて鹿児島入りした一行は、初日と二日目は、鹿児島市内に宿泊して市内や桜島を観光。三日目は国分の海水浴場で南国の海を満喫し、四日目は霧島観光を楽しみました。

被災地区では、まだ仮設の学校や住宅が多く毎日きゅうくつな生活を強いられており、子供たちは鹿児島で伸び伸びと遊び、子供本来のエネルギッシュで明るい笑顔を取り戻していました。

この阪神淡路大震災支援鹿児島会議には、加治木から民間グループ「たかんばっちょ会」「かじっがらす会」が参加し、会の代表も性応寺の安満良朗さんがつとめるなど、きわめて加治木色が濃厚なボランティア団体。阪神復興の道のりはまだまだ遠く先は見えませんが、同会議のみなさん、これからもがんばってください。活躍を期待しています。

性応寺の本堂で

音楽鑑賞でボランティア

盆踊りを楽しもう
踊りの祭典
町レクリエーション協会

〝盆踊りを楽しもう〟と町レクリエーション協会は八月十九日、役場グラウンドで第一回「踊りの祭典」を開催しました。

夏祭りの踊りとは違い、自由に参加して気軽に踊れるとあって、初めての試みにもかかわらず集合した人は三百人余り。レクリエーション協会の主催だけに、踊りはオハラ節やハンヤ節、加治木音頭などをアレンジしたものや3B体操、健康体操、フォークダンスなどと盆踊りとはひと味違ったものでしたが、参加した人たちは夜のカーテンに恥ずかしさを隠し、熱心にチャレンジしていました。

グラウンドチャンピオン！
末吉泰さんと市野親義さん
町秋季畜産品評会

平成七年度町秋季畜産品評会が八月二十三日、辺川の旧鎮守小学校跡で行われ、四十五頭の牛が自慢の毛並みや体型を競いました。

▼『グラウンドチャンピオン』
肉用牛の部　末吉泰さん　ありあけ2の4
肉牛の部　市野親義さん　かずこ

▼『地区別成績』
優勝…小山田地区▽二位…辺川地区▽三位…西別府地区

夏季ナイターソフト
7/10 ～ 8/29

Aクラス優勝…球友▼二位…あすなろ▼三位…ラガー
Bクラス優勝…NTT加治木▼二位…役場倶楽部▼三位…合庁ファイターズ
※13チーム参加

とても楽しそう

りっぱな牛です

優勝した球友メンバー

悔いのないいい試合だった
新星加治木ソフト
全国大会出場！

第九回全日本小学生男女ソフトボール大会が八月四日から滋賀県守山市で開催され、新星加治木ソフトボールスポーツ少年団が鹿児島県の代表として出場しました。

大会には、男子六十六チーム、女子五十一チームの計百十七チームが参加。新星加治木チームは、一回戦は三重県の長太チームと対戦し六対三で快勝しましたが、二回戦では大阪府代表の強豪で六チームの選抜で組織される枚岡チームと当たり、二対一で惜敗。しかし、子供たちは練習の成果を十二分に出し切るとともに精一杯がんばり、悔いのないいい試合を経験することができました。

全国大会出場に際しましては、多くの町民の御協力御声援をいただきまことにありがとうございました。新星加治木ソフトボールスポーツ少年団では、今回の全国大会出場を契機にさらに練習に励みがんばっていこうという意気込みに燃えています。みなさん、今後ともよろしくお願いいたします。

いい思い出になりました

10月10日
町民体育祭

みんなで
盛り上げよう！

複式学級を阻止しようと 転入者勧誘の看板を立てる

永原小PTA

児童減少問題に悩む永原小学校PTA（隈元純夫会長）では九月十日、ほかの地域から転入者を勧誘しようと永原小学校の正門をはじめ、校区内外の四か所に看板を立てました。

永原小学校は、すでに平成三年から三、四年生の複式授業に踏み切り、現在、児童数は一年五名、二年五名、三年三名、四年八名、五年六名、六年十四名の合計四十一名。しかも、来年六年十四名が卒業すると、入学する一年三名を加えても三十名となり、ゆくゆくは全ての学年が複式になりかねない憂慮事態を迎えています。

まずは看板立てから

児童減少の傾向は、龍門校区より永原校区の方が早く、すでに活動を起こしている龍門校区に比べると、遅きに失した感は否めませんが、永原校区民としても、これまで何回も会合を重ねてその対策を講じてきましたが、本格的に動きだしたのは今年に入ってから。このため、PTAと地域の方々を交えた「永原ふるさと会」の結成に向けて具体的に話が進み出し、永原小学校出身者で下場にいる人をPTAの準会員につのり、PTAと地区民とが一体化した組織強化を図り、十一月ごろをメドに結成される運びとなりました。

隈元PTA会長は、「竜門校区との交流を図ったり、学校側とも意を十分に汲み交わし、これから地域住民に学校を開放したり、県無形文化財指定の太鼓踊りを学校で子供たちに伝承していきたい。また地元の人が町に下りていくので、それにもストップをかけたい」と、ふるさと永原の活性化に希望を抱き、PTA会員らとともに振るうスコップに力が入っていました。

かじっガラス

国際交流……それは身近な物語である あなたも体験してみてください

▼先月、町の外国人ホームスティ事業に応募した。家族に反対されたが「めったにない機会だから」と押し切った。妻が反対するのも無理はない。ホームスティは八月十九日の夜で、実は明日二十日は太鼓踊りの日なのだ。私は小さいころから木田地区で太鼓踊りをしており、おまけに子供も一緒に踊っているので、毎年、本番前の夜は道具の点検や飾りつけ、また妻は妻で明日の弁当の準備に大わらわで、我が家はてんてこ舞いなのである。

▼十九日の昼前、龍門滝温泉に外国人を迎えに行った。コマルル・アリピンというインドネシアの男性で、鹿大の留学生ということであった。小柄で誠実そうな青年だった。家族の心配をよそに、彼は鹿児島に来て四年になるそうで、日本語がうまくて私たちは心配していた英語は一言も話さずに済んだ。ちなみにインドネシアにはインドネシアの言葉があるそうだ。昼食は冷しそうめんにした。彼は箸の使い方が上手で、メンもつるつるとすすり、「おいしい、おいしい」というお世辞も板についていた。

▼その後、二人連れ立って太鼓踊りの準備をしている公民館に行った。最初、彼は私の横でカネを磨いてくれていたが、外見は日本人とあまり変わらないので皆は気づかなかった。そこで紹介すると、彼は気遅れすることなく自分の名前をしっかり言って、いろいろな質問に答えていた。その態度を見て、学校の勉強だけが勉強ではないなと痛感した。私の息子と大して変わらないが、異国の土地にあって、異文化に接して自ら協力するなど、その応対のしなやかさに感服した。昔の言葉に、「可愛い子には旅をさせろ」というが、実にそのとおりで、これには国際間のへだたりはないようである。

▼私は鉦（かね）打ちで、朝三時に起こし鉦を打たねばならない。それにコマルルさんも連れて行こうとおもったが、思い止まった。見ると、彼は妻が用意したフトンを抜け出し、茶の間のゴザの上で気持ちよく寝ていた。インドネシアは年中暑いのかと思っていたが、彼の住む所は気温は年中二十五度ぐらいで、夜は十九度ぐらいの適温らしい。そういえば昼間、暑い暑いと、へばったような声を出していたのを思い出し、一人頷いたことであった。

朝早かったので声を掛けずに太鼓踊りに出掛けたが、コマルルさんは外国人のみんなと太鼓踊り見学に来ていた。そして妻と娘を探し出し、そのかたわらでしっかり手を振っていた。別れ際、コマルルさんは太鼓踊りの姿のままの私に手をさしのべて「ありがとうございました。いつかインドネシアに遊びに来てください」としっかり手を握りしめた。

▼我が家の応対がどうだったか、彼に確かめることはできなかったが、きっと肌で我が家の普段の生活を感じとってくれたことだろう。国際交流といっても、何もよそいきの接し方はいけない。むしろ、失礼だと思った。はれものに触るような付き合いでなく、息子に接するような態度で望むべきだと痛感したことであった。

アンのＥＹＥ・アイ・

私のお友達を紹介します

今月は加治木に住んでいる私と同じ日本政府のＪＥＴプログラムで来日している姶良教育事務所の英語指導助手(ＡＬＴ)として働いている友達について紹介したいと思います。多くの町民の皆さんが彼らの顔をよく知っていると思いますが、最近一人、ロバートというカナダ出身で加治木に２年間いた方が帰国しましたが、その後に私達の小さいグループに新しいメンバーが入ってきたのを機会に、あらためて彼らのことを紹介します。

彼らにはそれぞれ仕事がありますが、それ以外、いつも私が計画する国際交流事業や町のイベントに積極的に参加したり、手伝ったり、協力して下さったりして、いろいろな方法で加治木の社会に大きな貢献をしています。また、「姶良郡内のあちこちの生徒達に英語を教えながら私達も日本の文化、伝統、鹿児島の事などを吸収して、鹿児島にいる間、生徒達とお互いに視野を広めながら国際化に向けて頑張って行きたい」と彼らは期待しています。それでは、今月は去年の８月、私と同じ時期に来た４人を紹介します。

最初は、オーストラリアの西海岸、鹿児島市との姉妹都市パーツ出身のフィオナさんです。23才で、大学時代日本語とドイツ語を専攻し、大学院でマスコミの研究しました。大学に入る前17才のフィオナさんはドイツで１年間留学しましたのでドイツ語はぺらぺらです。将来の希望はもう一度ドイツで暮らしたいと望んでいます。趣味は裁縫、料理、絵を書く事、旅行する事や最近日本舞踊を習いはじめました。

次は、アメリカ南カロライナ出身のジャスミンさんです。彼女は大学で政治学と国際交流を専攻した後、１年間台湾の台北で留学しながら、中国語を習いました。帰国してから故郷のチャールストン市の商業会議所で広報活動の仕事をしていました。加治木で２年目にはいったばかりで、ジャスミンさんの趣味は書道、ジョギング、旅行をすること、音楽を聞く、映画を見ることなどです。

３番目は、アメリカの首都ワシントン出身のジョシュアさんです。彼は１ヵ月前に着任したばかりで、ただいま積極的に日本の日常生活や文化に飛び込んで周りの人と交流が出来るようにと、日本語を一生懸命勉強しています。大学時代の専攻はフランス語と政治学で、1991～92はフランスに留学、1992～93はニュー・ヨークにある国連で勉強しました。ジョシュアさんは卒業後、故郷のワシントンで女性国会議員の広報運動秘書として１年間仕事してからＪＥＴプログラムの試験を受けて、英語指導助手として加治木にやってきました。「日本に来るまでは日本語を全然話せなかったけれど、うまくコミュニケーション出来るように今からがんばっていきたい」と彼は言っていました。スポーツが大好きで、特に野球、バレーボール、バスケット、サッカーは得意。しかし、彼の一番の自慢は靴のサイズ34センチ!!!

最後は、デイビッドさんです。ジョシュアさんと同じワシントン出身で、大学の専門はスペイン語と政治学。メキシコのグアダァハラ市で２年間留学した後、アメリカン大学で大学院として政治学を勉強しました。卒業した後、スペインで英語の先生していました。趣味はジョギング、テニス、バスケット、バレーボール、釣りです。加治木に来てから専門は焼酎になってきたと喜んでいます。

皆さん、この４人と町で出会ったら、ぜひ気軽に話しかけてね！

左から　フィオナさん、デイビッドさん
ジョシュアさん、ジャスミンさん、アンさん

椋鳩十

八月入館状況と感想文

平成五年八月　八二六名
平成六年八月　一、二九五名
平成七年八月　一、二六三名
○芳名録記載数　九一七名
・芳名録による県内の状況
鹿児島市二七二名、串木野市六一名、加治木町四八名、福山町四二名、東市来町三五名
・県外の状況
福岡県五六名、宮崎県四七名
大阪府二九名、神奈川県二七名
東京都二二名、千葉県一九名

八月二十一日（月）
新潟県佐渡島　小林さやかさん
国語の授業で、椋鳩十先生の「月の輪ぐま」を勉強しました。
加治木町に記念館があると聞いて来ました。ビデオを見たり、たくさんあるいろんな資料を見てびっくりしました。
椋鳩十先生について、今まで知らなかったことがわかって、よかったと思います。
ありがとうございました。

八月二十九日（火）
熊本県泗水町　上土井まゆみさん
帰りの時間の都合もあり、一時間ほどしかおれませんでしたが、もっとゆっくり先生の世界を散歩してみたいと思いました。
小さい頃、たくさん読んだ本の中にも、先生の作品がみつかります。
日本中のいたるところに、先生の文学で、心を育てられた少年少女が、今、大人になって、この館を、なつかしく訪ねられることと思います。
心にやさしい文学館でありつづけてほしいと思います。
夏の終り夫と二人旅の途中で。

夏休みに来館され、「感想ノート」に書いてある中から、二～三紹介したい。
八月十六日（水）
福岡県筑紫野市　吉村圭子さん
〝椋鳩十先生のふるさと訪ねてツアー〟にやってきました。
きょうは誕生日ですし、ハッピーです。
屋久島をはじめ、鹿児島の自然や風物を、こよなく愛しておられたことが伝わります。
取材ノートや、直筆の原稿など見れてよかったです。
五年生の子どもたちと、楽しい学習をするよい資料になりました。これから栗野岳に行ってみます。
沼あるかな。ガンいるかな。

（椋鳩十文学記念館長　榎薗高雄）

竜門句会

ためらひは一瞬天道虫飛べり　園田　千秋
煌煌と夜学の窓や月稚き　神村　洋子
蝶の翅神輿のごとく蟻の列　高木　正男
天瓜粉ピリオドを打つ尻の青　川崎　黒兎
片蔭に寄りて作戦草野球　萩之内幸子
八方の文債果たし夕端居　白尾　澄子
自分史にことかかぬ過去終戦日　恒吉　斗南
炎昼や身は点滴に任せをり　稲恒やすお
天心の半月仰ぎ夫と居て　古江　重美
梅雨明けのもの皆眩し光る風　岩田美知江
片蔭に我が影重ね歩きけり　柳田　稔
一病に褒賞重き片かげり　竹山　洋子
反抗期覚えし子の瞳夏休み　加藤　白柳

さつま狂句

▼兼題「名代」　榊　牛尾先生　選

天　遠い手女房　亭主ん名代どま　軽るこねっ
唱　何ゆばさせてん　立派なもんじゃ（今村牝牛）
地　票い成らん　席な名代ゆ　座らせっ
唱　わがで出た方が　将来が良かどん（月野木寿峰）
人　親ん名代　最早や言でけた　一人婿
唱　婿どんじゃれば　せんな済んめで（川床一路）

鹿児島広域都市圏 フォトコンクールの案内

一、テーマ
▼人と人がふれあう躍動的な街の風景やイベントなど。
二、募集期間
10月1日～12月31日（7月1日以降に撮影したもの）
三、表彰
グランプリ一点　賞金五万円
ほか賞金あり
四、応募規定
(1) テーマに合ったもの。
(2) 撮影場所が鹿児島広域都市圏内であること。
(3) 未発表であること。
(4) 作品は四つ切り以上
五、応募及び問い合わせ先
・鹿児島市山下町一四―五〇
県企画調整課内　鹿児島県広域都市圏整備推進協議会事務局
☎0992―26―8111

労働保険 加入で広がる職場の笑顔

労働保険（雇用保険・労災保険）への加入はおすみですか。
労働保険は政府管掌の保険で、昭和五十年四月から適用になっており、労働者を一人でも使用する事業主は、業種の如何を問わず労働保険に加入しなければなりません。
国・県および公共職業安定所では、十月を「労働保険適用促進月間」と定め、未加入事業所に対する加入促進を展開しています。
加入手続きは、公共職業安定所に直接されるほか、労働保険事務組合（商工会等）へ事務委託することもできます。事務委託されますと保険料の申告や納付、各種届出書の作成、提出を事務組合で事務処理することとなり、事務処理面の負担軽減となります。

親子映画鑑賞会

〔福祉センター〕
10月はお休みです。

〔椋鳩十文学記念館自由の館〕
日時　10月22日（日）10時
映画　①草原の子テングリ
　　②かんいりオタマジャクシ
主催　加治木町親子映画会
※無料ですので児童・生徒・親子多数ご鑑賞ください。
（都合によりフィルムを変更することがあります。）

役場職員を募集

一、職種・人員
一般事務・若干名

二、受験資格
高校卒業程度以上（平成8年3月卒業見込みを含む）の学歴を有し、昭和44年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた者。
（18歳～26歳）

三、試験の日時・場所
〔第一次〕
・平成7年11月5日（日）
・9時～12時20分
・福祉センター大ホール
〔第二次〕
・平成7年12月中旬
（一次試験合格者のみ）

四、試験
〔第一次〕
①教養試験（国語、数学、英語、社会、理科）②一般知能
（文章理解、判断推理など）
③作文
〔第二次〕面接・身体検査

五、受験手続
10月20日5時までに総務課庶務係へ自筆履歴書、身上書を提出して、受験票の交付を受ける。（書類は役場にあります）
※くわしくは……役場総務課
☎62－2111内線261

うぶ声

出生児　保護者　自治会
堀之内優奈　弘幸　西江口団地
坂元　優花　和義　今町
福嶌　彩　由紀夫　西反土後
谷口　優斗　潔　豊町
野間　裕貴　次男　反土黒川
山野　杏実　大志　今町
田丸　将大　郁夫　東諏訪
神園　早紀　隆志　楠園
藤野　真帆　茂己　石野
湯浅　海洋　慎太郎　萩原
野間　柚希　和弘　小烏
辻　拓馬　義人　反土黒川
瀬戸山里南　宏一　上浜
福山　千晴　浩美　東諏訪
西村　将季　克文　赤坂
豊留　康平　威好　楠園
岩下　豪海　慶一　赤坂

▽八月二十日までに住民台帳に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝社会福祉協議会へ＝
五万円　西浦西　柚木健一（妻　良子六二）
五千円　今町　前原セイ（長男　勝五九）
五万円　高井田　山上忠雄（母　フミ八八）
三万円　東塩入　亀井清晴（妻キクヨ八一）
三万円　東吉原　東村スミエ（夫政巳六二）
五万円　岩原西　山崎喜雄（母　シヅ九三）
五万円　原ノ門　二宮忠信（長男　力二〇）
十万円　今町　新福スミエ（夫貞雄九〇）
三万円　郁文館住宅　大宮路タマ子（母　上野ワカ九〇）
二万円　新中戎　勉（父　遙八五）
五万円　下新道　安樂光行（妻　ユキ六九）
一万円　毛上　内田トヨ子（母シツ八〇）
二万円　西反土後　林成男（母　ハナ八七）

＝老人クラブ連合会へ＝
二万円　下新道　安樂光行（妻　ユキ六九）

＝育英奨学資金へ＝
三万円　岩原西　山崎喜雄（母　シヅ九三）
十万円　今町　新福スミエ（夫貞雄九〇）

＝国民年金協議会へ＝
三万円　西浦西　柚木健一（妻　良子六二）

▽八月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

平成7年 10月在宅医表

1	松元医院	内科 溝辺町有川231 ☎59－2823
8	加治木温泉病院	内科 加治木町木田4714 ☎62－0001
10	加治木整形外科	整形外科 理学療法科 加治木町港町147－2 ☎62－3711
15	佐藤医院	内科・小児科 溝辺町有川327－2 ☎59－2607
22	池田医院	内科・小児科 加治木町本町358 ☎62－2220
29	川畑内科	内科・小児科 加治木町錦江町234 ☎63－1499

※ 診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として)
※ 当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。

日曜・祝日　歯科緊急診療　10時～15時　郡歯科医師会館口腔保健センター（0995－58－4388・溝辺町空港近く）

十月一日は国勢調査
ご記入はお済みですか

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。

九月二十三日から、調査員が皆様のお宅に調査票をお届けしています。国勢調査の結果は、国や都道府県・市区町村の行政に利用されますので、調査票にはふだん住んでいる人をもれなく正確にご記入ください。

十月八日までに調査員が受け取りに伺いますので、調査票は丸めたり、折ったりしないで大切に保管しておいてください。

お問い合わせは……調査員または役場企画課（☎62－2111内線361）まで。